

井上角五郎 あづまのり 政治家、實業家。安政六年十月十八日備後國生乳
 昭和十二年九月（二十三日歿）（八九—一九三）。號程南、琢園。明治十五
 年渡瀨義塾本科卒。『時事新報』記者、朝鮮政府顧問となる。翌十六
 年『漢城旬報』を創刊し、十九年からは『漢城週報』を創刊した。二十一年歸
 國し、大同團結運動に参加。第一期より衆議院議員（當選十四回）。
 一方實業界でも活動。

著書に『政談演説』（内題「政談演説集」他六名合著、明治二十二年
 九月九日岡田重敏編輯）、『帝國議會議政之方針』（内題「議政の方針」
 明治二十七年七月）、『二十二年小坂幸吉編輯』、『張嬪「朝鮮宮中物語」
 （井上角五郎と素・福地源一郎手稿、手塚益昌編、明治二十七年十一月）
 月）、『二十二年渡瀨新誌社』、『南無觀音』（大正十五年二月十五日刊、
 南無觀音發行所）等。久保大隨執筆『井上角五郎君略傳』（大正八年
 十一月一日井上角五郎君功勞表彰會）がある。

